

記者発表資料

(県 政)

死生懇話会の取組をまとめた書籍を出版！

本県が「死生懇話会」を立ち上げるに至った経緯や、コロナ禍の期間に行政が真正面から「死」や「生」といった根源的なテーマを議論してきた経過や気づきを職員目線の一人称書きのドキュメンタリー調で仕上げた書籍を出版します。

書籍情報

[著書名] えっ！死ぬとか生きるとか、知事命令？ 滋賀県庁「死生懇話会」ドキュメント

[著者名] 滋賀県総合企画部企画調整課企画第二係

[発行所] (株)文芸社（東京都新宿区新宿1-10-1）

[定 価] 1,500円+税

[発売日] 令和7年2月5日（電子書籍版についても順次配信）

※地域によって流通事情が異なるため、書店に並ぶ時期は一律ではありません

[発行部数] 初版2,500部（状況に応じて増刷の可能性あり）

[表紙イラスト] 吉本ユータヌキさん（県内在住の漫画家・イラストレーター）

[書籍案内ページ] <https://www.bungeisha.co.jp/bookinfo/detail/978-4-286-25823-2.jsp>



【死生懇話会について】

滋賀県では、人生100年時代の到来とともに、多死社会を迎える中、誰もが避けられない「死」について、行政としても真正面から考えることで、「生」をより一層充実させる施策につなげる契機とするために、令和2年度に有識者による「死生懇話会」を設置して、様々な角度からの議論を深めてきました。

過去に開催した死生懇話会および関連企画については、右の二次元コードから御確認いただけます。

